

R6年度
弟子屈町立美留和小学校

学校評価
7月結果

校訓	○勉学 ○勤労 ○健康	学校教育目標	○よく考える子ども ○助け合う子ども ○がんばるぬく子ども ○進んで仕事をする子ども ○強いからだの子ども
目指す子どもの姿	・「いい目」で学習する子ども ・「いい口」で自分の思いや考えを述べる子ども	・「いい耳」で友達や先生の話聴く子ども ・「いい鼻」で地域の良さを感じる子ども	・「いい心」で友達や先生と接する子ども ・「いい体」で明るく元気に過ごす子ども
目指す保護者の姿	・「いい目」で、児童の成長を見守る保護者 ・「いい口」で、児童の成長を評価する保護者	・「いい耳」で、児童や教職員・地域の方々の話を聴く保護者 ・「いい鼻」で、地域の良さを感じる保護者	・「いい心」で、児童や教職員・地域の方々と接する保護者 ・「いい体」で、明るく元気に行事に参加する保護者
目指す教職員の姿	・「いい目」で、児童に指導する教職員 ・「いい口」で、児童を褒め、認め、励ます教職員	・「いい耳」で、児童や同僚・地域の方々の話を聴く教職員 ・「いい鼻」で、地域の良さを感じる教職員	・「いい心」で、児童や同僚・地域の方々と接する教職員 ・「いい体」で、明るく元気に働く教職員

※「・」は評価項目のキーワード ※評価は、上段7月、下段12月 ※A:とてもそう思う(4点)、B:そう思う(3点)、C:そう思わない(2点)、D:まったくそう思わない(1点)

観点	No.	児童アンケート	評価	保護者アンケート	評価	教職員自己評価アンケート	評価
子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育	1	先生方は、自分のことを、褒めたり、認めたり、励ましたりしてくれる。 ・「すごいね」「よくできたね」「がんばろうね」など	3.5	学校は、児童を認め、褒め、励まし、やる気を伸ばす教育を充実させている。 ・「先生に〇〇すごいって言われたよ」など	3.8	教職員は、日常的に、児童を認め、褒め、励まし、やる気を伸ばす働きかけや授業・教育活動を行っている。	3.9
	2	タブレットを使って、楽しく調べたり学んだりすることができている。 ・「タブレット」「ロイロノート」「オンライン学習」など	3.6	学校は、ICT 機器(タブレット等)を効果的に活用し、授業を行っている。 ・「今日ね、オンラインで〇〇の学習したんだよ」など	4.0	教職員は、ICT 機器(タブレット等)を効果的に活用し、ロイロノートやオンライン学習などを取り入れた授業を行っている。	3.9
	3	学習すると、「わかった」「できた」「楽しい」と思うことが多い。 ・「〇〇できた」「〇〇わかった」「〇〇楽しかった」など	3.5	学校は、「わかった」「できた」を大切にしたい「楽しい」と思える授業を行っている。 ・「今日ね、〇〇ができてうれしかったよ」など	4.0	教職員は、授業研究と授業改善を心がけ、児童が「わかった」「できた」「楽しい」と思える授業を行っている。	3.4
	4	先生方は、自分が困ったり悩んだりする時に、助けてくれたり支えたりしてくれる。 ・「大丈夫?」「元氣出してね」「一緒にがんばろうね」など	3.4	学校は、児童一人一人を大切にしたい教育を行っている。 ・「今日ね、〇〇の時に、先生が声をかけてくれたよ」など	3.8	教職員は、インクルーシブ教育を目指し、ユニバーサルデザインを意識して、児童一人一人を大切にしたい働きかけや授業・教育活動を行っている。	3.6
	5	キャリアパスポートを使ったり、将来のことを考えたりして、目標に向かって努力している。 ・「キャリアパスポート」「めあて・努力」など	3.5	学校は、地域と連携したり、キャリアパスポートを活用したり等、キャリア教育を充実させている。 ・「今日ね、めあてをクリアしたんだよ」など	3.8	教職員は、地域と連携したり、キャリアパスポートを活用したり等、児童一人一人の将来のためのキャリア教育を行っている。	3.3
	6	自分は、社会見学などで、町や地域のことを調べたり、いろいろな文化を学んだりしている。 ・「社会見学」「ふるさと学習」「出前授業」など	3.8	学校は、町や地域を調べたり、他地域の文化を学んだり、ふるさと教育を充実させている。 ・「今日ね、〇〇に行って、△△学んだよ」など	4.0	教職員は、町や地域・関係機関との連携を密にし、児童がふるさとを学べる教育の実践を行っている。	3.9
学びの機会を保障し質を高める環境	7	学校や家では、いろいろな種類の本を読んでいる。 ・「朝読書」「読み聞かせ」「お家でゆっくり読書」など	3.0	学校は、豊かな感性を身につけさせるために、読書の楽しさを味わわせている。 ・「今日ね、〇〇という本を読んだよ」など	3.6	教職員は、児童に豊かな感性を身につけさせるために、読書環境を整え、読書に親しむよう指導している。	3.9
	8	自分から進んで、農園・花壇の作業をしたり、駅の清掃をしたりしている。 ・「農園の水やり」「花壇作業」「地域・3.4駅舎清掃」など	3.4	学校は、家庭・地域と協力しながら、自然・人・産業に関わる体験的な教育活動を行っている。 ・「今日ね、〇〇に行って、△△して楽しかったよ」など	3.8	教職員は、家庭や地域・関係機関との連携を密にし、児童が自然・人・産業に関わる体験的な教育活動の実践を行っている。	3.9
地域と歩む持続可能な教育	9	学校や地域、家でも、自分から進んであいさつしたりマナーを守ったりしている。 ・「朝のあいさつ」「お客様へのあいさつ」など	3.4	学校は、挨拶や礼儀、マナーを守ること等の大切さを指導している。 ・「今日ね、大きな声であいさつできたよ」など	3.7	教職員は、自ら笑顔と明るい挨拶を心がけ、児童が、場に応じた挨拶や言葉遣い、時間を守ることや時と場に応じた言動ができるよう努めている。	3.6
	10	友だちや先生と仲良くしたり、やさしくしたりしている。 ・「なかよく遊ぶ」「困っていたら助ける」など	3.2	学校は、協調性や思いやり、豊かな心を育む教育を行っている。 ・「今日ね、ケンカしたけど、仲直りして遊んだよ」など	3.8	教職員は、自らの人間性を高めつつ、児童が友達や先生と仲良くしたり、友達に思いやりを持って接したりできるよう、適切な指導を行っている。	3.8
	11	学校や家では、自分から進んで、たくさん運動をしている。 ・「朝の体力づくり」「マラソン」「運動会の練習」など	3.1	学校は、体力づくり等、体力向上のための取組を行っている。 ・「今日ね、体育の時間、〇〇がんばったんだよ」など	4.0	教職員は、児童に体力向上の意義を伝えるとともに、意欲的に体を動かす喜びを実感できるような活動の工夫を行っている。	3.5
	12	自分から進んで、健康に気をつけたり、そうじをしたりしている。 ・「給食を残さず食べる」「毎日のそうじ」など	3.3	学校は、安全で衛生的な学校環境や活動を充実させている。 ・「避難訓練したんだよ」「給食残さず食べたよ」など	3.8	教職員は、児童に生命の尊さや安全で衛生的に生活する意義を伝えるとともに、衛生的な環境を整えたり、活動の工夫をしたりしている。	3.6
	13	早寝早起きや清潔な身なりをすること、朝ご飯を食べることなどに気をつけている。 ・「早寝・早起き・朝ごはん」「生活リズム」など	3.3	学校は、家庭と連携し、児童に基本的な生活習慣・食習慣を身につけさせる取組を行っている。 ・「今日は早く寝て、明日は早く起きるね」など	4.0	教職員は、家庭と連携し、児童に基本的な生活習慣・食習慣が身につくよう指導している。	3.1

学校評価
7月分析・考察・展望

校訓	○勉学 ○勤劳 ○健康	学校教育目標	○よく考える子ども ○助け合う子ども ○がんばるぬく子ども ○進んで仕事をする子ども ○強いからだの子ども
目指す子どもの姿	・「いい目」で学習する子ども ・「いい口」で自分の思いや考えを述べる子ども	・「いい耳」で友達や先生の話聴く子ども ・「いい鼻」で地域の良さをを感じる子ども	・「いい心」で友達や先生と接する子ども ・「いい体」で明るく元気に過ごす子ども
目指す保護者の姿	・「いい目」で、児童の成長を見守る保護者 ・「いい口」で、児童の成長を評価する保護者	・「いい耳」で、児童や教職員・地域の方々の話を聴く保護者 ・「いい鼻」で、地域の良さをを感じる保護者	・「いい心」で、児童や教職員・地域の方々と接する保護者 ・「いい体」で、明るく元気に行事に参加する保護者
目指す教職員の姿	・「いい目」で、児童に指導する教職員 ・「いい口」で、児童を褒め、認め、励ます教職員	・「いい耳」で、児童や同僚・地域の方々の話を聴く教職員 ・「いい鼻」で、地域の良さをを感じる教職員	・「いい心」で、児童や同僚・地域の方々と接する教職員 ・「いい体」で、明るく元気に働く教職員

No.	アンケート項目	分析・考察・展望
1	「褒める・認める・励ます」を意識し、児童のやる気を伸ばす教育の充実	大人であっても、「褒められる事」「認められる事」「励まさせる事」は嬉しい事です。今後もドンドンやる気を伸ばしていきます。
2	ICTの活用による個別最適な学びと協働的な学びの一体化を表現する授業改善	ICT機器は今の時代には無くてはならないものです。使いこなしながら、より良い学びとなるよう取り組んでいきます。
3	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善	積極的に一人で学ぶ時間、みんなで仲良く学び合う時間、どちらも大切に楽しくわかる授業をしています。
4	インクルーシブ教育の理念に基づいた特別支援教育の充実	「助けてもらっていること」「支えてもらっていること」を、子ども達がより実感できる、寄り添いや声かけ・指導等を続けてまいります。
5	地域と連携しキャリアパスポートを活用したキャリア教育の充実	自分の将来の夢や目標に向かって努力していることを、子ども達自身がより実感できる教育活動を進めていきます。
6	地域づくりに主体的に参加する意欲や態度を育むふるさと教育の充実	「本物を見て、触れて、感じる教育活動」は、美留和小のストロングポイントです。今後も充実した活動となるよう、努力してまいります。
7	学校や家庭における自主的・自発的な読書活動の推進	読み聞かせをはじめ、「図書に触れる・親しむこと」は、豊かな心づくりに繋がる大切な活動だと思います。時に、ご家庭の協力も得ながら、指導を続けてまいります。
8	本物に触れる体験や地域素材を積極的に活用した豊かな体験活動の推進	項目6と同様、「豊かな体験活動」は、美留和小のストロングポイントです。今後も充実した活動となるよう、努力してまいります。
9	「考え議論する道徳」を要とする道徳教育の充実	これからも高い評価をいただき、実際の生活の場面でも実践できるよう、引き続き、教職員共通理解のもと、挨拶や言葉づかい等の指導を行ってまいります。
10	望ましい人間関係を自発的に形成する態度を育む取組の充実	一部教科担任制を加え、これからも、全児童を全教職員で見守り、適切な声かけや学習指導・生徒指導を続けてまいります。
11	たくましく生きるための体力を育む教育の充実	1学期は「大運動会」の取組を中心に体力作りに励んできました。2学期は「美留和マラソン」、3学期は「スケート学習」「スキー学習」を中心に、体力作りに励んでまいります。
12	安全や衛生、健康等に関する教育の充実	これからも、自分の命や周りの人の命のこと、安全で衛生的に生活することの大切さを伝え続け、自ら進んで実践できるよう指導してまいります。
13	望ましい生活習慣や食習慣の定着	「早寝・早起き・朝ご飯」「適度な休息」「整った生活リズム」を児童自らが意識し実践できるよう、指導を続けてまいります。

保護者 自由記述欄より
 ○児童クラブの先生からも、美留和小学校の子供達は仲間意識が強く、とても雰囲気が良いという話を聞きました。
 ○担任の先生だけでなく、他の先生方にも遊んで頂いたり、そんな環境がステキだなと思います。
 ○特認校らしい特色ある教育で、みんなが楽しく学校生活、勉強をしていると思います。個性や自立心を伸ばすことが出来る学校で、安心して通わせることが出来ます。
 ○一人一人の児童と向き合っている先生達・美留和小学校に感謝です。(複数記述)
 ○「今日は〇〇先生の授業で楽しかった～」と言ってます。一部教科担任制は楽しく学べて良いです。
 ○子ども達がワクワクする授業をいつもありがとうございます。校外においても、イベントや体験活動の参加に積極的になりました。
 ○PTA 歓迎会、環境整備、運動会。地域の方の温かさを感じる機会が多く、郷土愛にも繋がってます。
 ○一部教科担任制は、中学校に行った時にも戸惑いが少なくて良いです。
 ○「子ども達に良い影響が出そうな物は全部やる!!」という校長先生の考え方が最高に好きです。
 ○「今日こんな勉強をしたよ。ママわかる?知ってる?わかるようになったよ」と家で話してくれます。
 ○一部教科担任制は、変化をつけることによって自信になり、喜びも感じながら学べるのだなあ、子どもの素直さを感じ、そういった取組をどんどん取り入れて下さる事の大切さを改めて感じました。

教職員 自由記述欄より
 ○一部教科担任制にすることで、特に高学年の指導がより良い指導となったと思います。
 ○図書スペースが日に日に充実し、読書をしたり、のんびりしたりしやすい場所となりました。
 ○美留和小職員室がより明るい雰囲気の職員室となり、イキイキ働くことができました。
 ○全教職員で全校児童の教育をすることができていました。
 ○美留和小で働けることに大変感謝しています。
 ○一部教科担任制は、児童のより良い学びに加えて、先生達の負担軽減にもなっています。
 ○子ども達の、のびのびとした姿と笑顔をたくさん見ることができた1学期でした。
 ○学校全体で児童を指導し、子ども同士で積極的に関わり合える環境が美留和小の良さだと感じました。
 ○一部教科担任制は、指導の専門性の向上や児童へのより良い関わり方など、児童にとっても教師にとっても良い体制だと感じました。
 ○小さな学校・特認校であるフットワークの軽さで様々な学習活動を体験できるのは美小の誇れる所だと思います。

学校運営協議会より
 ○児童評価、保護者評価、教職員自己評価を見ると、良い学校経営・運営ができている事がわかります。
 ○豊かな体験活動をより充実させるには、地域の人材をより活用すると良いと思います。
 ○電子書籍や音声図書など、図書に触れる環境をより充実したものにする方法があると思います。
 ○行政や地域との連携を強化し、よりステキな特認校になるよう期待しています。

「児童」「保護者」「教職員」のアンケート後、学校運営協議会の皆様にも評価をして頂きました。「分析・考察・展望」の欄にもありますが、アンケートの結果につきましては、良くて悪くても、謙虚かつ真摯に受け止め、『より良い教育活動』を目指して、教職員一同、今後もより一層頑張っていきたいと考えております。アンケートへのご協力、大変ありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。